

神戸電化工業 Uテック

上杉みどり社長

安全配慮は経営者の責任です

神戸電化工業(株)(神戸市西区高塚台 3-1-42)と(株)Uテック(神戸市西区高塚台 3-2-22)は両社とも、上杉みどり代表取締役が経営する会社です。神戸電化工業の主たる取引先は三菱重工に関連する企業で、Uテックは川崎重工から仕事を受注しています。

工場内に突貫で増設された建屋の安全性や法律違反が多いことに不安になり、3月に5人でユニオンに加入し、労働組合を結成しました。現在は7人で活動しています。3月31日労働組合結成の申し入れを行い、交渉を繰り返しましたが、夏季一時金の交渉を一方的に拒否されています。

◎安全対策されてない作業場

労働組合を結成したきっかけは、増築した作業場の安全対策でした。



昨年11月からはじまった新たな業務のため、突貫で作られた作業場は、歩くだけでも揺れ、となりの建屋のクレーンを使うと、どこかにつかまっていなくて立ってられないほどでした。しかも、この作業場では1本3トンの柱などを耐火塗装する業務でした。建屋2階の床が揺れると3トンの柱も倒れそうになり、下敷きになってしまう危険な状態でした。この状態に対して、社員らは何度も社長に改善を求めましたが、「100トンまで大丈夫な設計だから」と取り合ってもらえませんでした。

それだけではありません。2階には安全柵がないため、滑って転べば転落する恐れがあります。工具が落ちてしまう恐れもありました。

労働安全衛生法の労働安全衛生規則第519条では「事業者は、高さが2m以上の作業床の端、開口部塔で墜落により労働者に危険が及ぼす恐れがある箇所には、囲い、手すり、覆い等を設けなければならない」と定められています。

上記の写真は、修繕前の状態です。2階部分

の開口部には、ヒモがかかっていましたが、転落防止の対策とは認められません。

労働組合から要求書を提出し、対策を講じるよう求めたところ、神戸電化工業の上杉みどり社長が実施したことは、「ヒモ」を「チェーン」に取り替えただけでした。「安全を守る」ということが理解できてない証拠です。

神戸ワーカーズユニオン

TEL 078(232)1838 / FAX 078(232)1839 E-mail : kobeunion@rouge.plala.or.jp

「安全なくして労働なし」

納期最優先の経営に協力しない

◎交渉のたびに変わる回答

交渉日	会社回答
4月24日交渉	安全性について確認すると、「50トンまで大丈夫。だけど30トンぐらいまでにしている」という回答。安全柵などは、労働基準監督署からの指摘もあり、転落防止柵を設置する。
5月12日交渉	神戸市から指摘があり、「設備」ではなく「建物」とされ、建築確認申請が必要だったことがわかった。これまでは建築士に依頼せず、上杉みどり社長の父(会長)の知人に依頼していたが、建築士に設計図を依頼した。この日の説明では「1㎡あたり500kg」だと修正あり。 柱1本が3トンほどあり、それを横にして台に乗せて作業します。2カ所の台に乗せたとき、その台には1.5トンの重さになります。1㎡あたり500kgが限界なら、重量物を2階で作業することはできません。それでも納期にこだわる社長は2階での作業にこだわりました。安全性が確保できない状態で作業はできないと、組合員が2階で作業することを断りました。
6月14日交渉	建築士からの補強案が示された。建築士の計算では「補強しても1㎡あたり350kgだが、300kgにすることが望ましい」という。 「補強しても」ですから、補強されてない状態では、危険だということを示していました。上杉みどり社長は、半年以上に渡って社員に「安全です」とウソをついて働かせていたことになり、労働組合にもウソの回答で交渉していたことになります。異常な対応だとしか言いようがありません。

◎いつまでも解決しない安全対策

組合員は安全の確認ができるまで、増設建屋の作業場では働かないことを宣言していたところ、9月末になり、社長から組合員に「新たな耐火塗装が始まるので、2階で作業してほしい」と話がありました。

7月以降は夏季一時金交渉が続いたため、安全対策について会社から何の報告も受けていませんでした。10月1日、会社側弁護士が神戸市に提出した報告書を持ってきました。補強工事を終了したことはわかりましたが、どこを補強したのか、安全性の確認はどのように行ったのか程度のことは、社員たちに会社が報告すべきです。



◎上杉みどり社長、責任もって経営してください

10月21日、建築士が会社を訪れ、安全性について説明がありました。大変残念なことですが、かなり横柄な建築士で、組合員が質問してもわかりやすく解説せず、専門用語を使い「勉強して理解できるようになれ」と言わんばかりでした。上杉みどり社長も安全性や構造を理解しようとしておらず、信用できるだけの説明があったとは言えません。

安全対策がされてない現場で働くことで、労働者は命を落とす危険があります。納期を優先し、対策を講じることなく、すべてが納品されてから修繕しても遅いのです。労働者からの信頼を取り戻すためには、社長自らが建築物のことを理解し、労働者からの質問に答えられるようになるべきです。

上杉みどり社長、責任から逃げず、きちんと社員と向き合ってください。

神戸ワーカーズユニオン

TEL 078(232)1838 / FAX 078(232)1839
E-mail: kobeunion@rouge.plala.or.jp

ユニオンは誰でも1人でも入れる労働組合です。勇気を持って1歩踏み出すあなたを応援します。
神戸地区労(神戸地区労働組合協議会)、コミュニティ・ユニオン全国ネットワークがサポートします。